



西小だより

桐生市立西小学校
令和7年度
NO.20
和8年2月20日
発行：校長

在校生から6年生に感謝の気持ちを込めて～6年生を送る会～



【在校生や保護者の皆様に迎えられ入場する6年生】

2月18日（水）6年生を送る会を行いました。体育館には、多くの保護者の皆様にもお集まりいただき盛り上げていただきました。この日のために、在校生が6年生に感謝の気持ちを込めて準備してきた歌やダンス、ロールプレイでのふりかえりやメッセージなど心のこもったプレゼントが披露され、心温まる会となりました。

最後に6年生から、在校生にお礼の言葉や歌、パフォーマンスが披露され、これから西小の活躍を願ったバトンが後輩たちに託されました。参加した在校生からは「自分たちでできることは全部できて楽しかったです！」「6年生が楽しんでくれたらうれしい。」「来年は自分が6年生になるんだなとあらためて思いました。」などの声を聞くことができました。子どもたちには6年生とともに西小で過ごす残り少ない時間を大切にしてほしいと思います。

桐生市立小中・義務教育学校特別支援学級 学習発表会

1月29日（木）桐生文化会館小ホールで桐生市特別支援学級学習発表会が開催されました。西小からは、ひかり学級の児童の作品展示やダンスのステージ発表で参加しました。

絵画や工作作品は、どれも創造的で、見ていて楽しいものばかりでしたし、ステージ発表でのダンスでは、曲「風になりたい」にあわせて、ノリノリダンスを披露してくれ、保護者の方をはじめ、多くの観客を魅了するものとなりました。この日のためにがんばった子どもたちはもちろんですが、ご指導いただきました先生方にも感謝の気持ちで一杯です。



【西小児童の作品】

第2回学校評議委員会

2月13日（金）第2回学校評議委員会（9区区長、学校医、主任児童委員、同窓会長、PTA会長で構成）を開催しました。会議では、学校から今年度の学校経営の状況（成果と課題）や学校評価アンケート結果について皆様に報告し、委員の皆様から学校へのご意見を伺い、次年度の学校経営に役立てるといったもので、毎回、貴重なご意見やご助言をいただいている。今回の協議で主に話題となったのは、①「家庭での学習時間（宿題の扱い）」、②「将来の夢や職業観（キャリア教育）」、③「相談体制」についてでした。①については、多様性や様々な価値観等の問題はあるが、公立学校としての児童に身につけてほしい知識・技能の基準を学校がもつこと。②は、児童に目標（夢）をもたせることで成長（努力）を促すことが大切であること。③は、学校との相談の前に保護者同士（時に地域）とのつながりをつくり、そこで相談し、解決を図ることが必要であること、などの意見をいただきました。次年度以降の学校経営の参考とさせていただきます。

＜お知らせ＞

右のQRコードから西小のWebページをご覧いただくと、過去の「学校だより」等がご覧いただけます。



西小ホームページ

西小の取組紹介⑯

がんばっている西小の子どもたちや先生方を紹介します！

西公民館に作品展示②

1月15日（木）からはじめた作品展示ですが、2月下旬で終了します。お時間がある方は是非、西公民館まで足を運んでみてください。（作品は、2週間を目安に入れ替えて展示しています。）



なお、作品展示場所には、感想BOXを用意してありますので、子どもたちへのメッセージを寄せていただければ、学校で紹介させていただきます。メッセージは、子どもたちや先生方の励みになると思います。よろしくお願ひします。

西公民館作品展の感想紹介

1月15日～2月末まで西公民館で試験的に開催しています。急なお知らせにも関わらず、多くの保護者の皆様や地域の皆様に足を運んでいただきましたことに感謝申し上げます。

次年度以降の開催につきましては、今のところ未定ですが、ご意見やご感想等をいただけましたら幸いです。

「西小作品展」会場に設置しました感想 BOX に寄せられた来場者の皆様からの感想の一部をご紹介します。

「私のことなんて…何も分かっていないくせに…」

先日、終末期医療に従事する医師の講演を聞く機会がありました。「目の前にいる苦しんでいる人（死を目前とした人）に、穏やかな気持ちになってもらうためには、私たちはどのように関わるべきか？」という難しいテーマでした。講演の冒頭、講師の医師から私たちに「本当に苦しんでいる人の気持ちを理解できるでしょうか？」という言葉が投げかけられました。講師の答えは、「残念ながら置かれている状況が異なるため、その人の気持ちは（想像でしか）分からぬ」とのことでした。

講師曰く、「大切なことは、私が（理解する）ではなく、相手が（私を理解者だと思うこと）なのだ」そうです。私たちにできることは、相手が伝えたいことをキャッチし、その言葉をさりげなく反復で返す。例えば、相手が「〇〇がつらい…」と言ってくれたら「〇〇がつらいんですね」といった具合だそうです。その際、私たちはよかれと思い解釈（あなたのためのアドバイス！）をつけてしまいますが、それは不要（時に逆効果）なこともあるのだそうです。相手が望んでいるのは、分かつてくれる人（話を聞いてくれる人）がいること、そのような人がいるだけで真っ暗に思えた世界の中でも一つの明かりを見つけることができる。つらいことがあって苦しんでいても、自分のことを認めてくれる誰かの支え（理解）があると、人は一転して強くなれるのだそうです。

思春期を向かえ、悩みを抱えた子どもたちへの対応にも同様のことが言えると思います。私は、この研修会に参加して、多くの人たちが、「互いに相手の苦しみに気づく感性」を身に付けることができれば、きっとみんなが幸せな社会（Well-Being）を築く一歩になるのだと思いました。

たくさん本を借りましょう！図書委員会

2月3日（火）～5日（木）の3日間、図書委員会が、たくさん本を読んでもらうためのアイディアを考えて活動してくれました。

この期間に2冊以上本を借りると「くじ」を引くことができ、しおりや折り紙がもらえるといった素敵な企画です。西小の子どもたちの読書量は、市内でも上位ですが、今回の企画が本を借りるきっかけとなった子どもたちもいたように思います。読書離れが叫ばれている昨今ですが、スマホと違い読書は感性を育み、心に潤いを与えてくれるアイテムです。これからは親子で本に触れてみませんか？



【プレゼントをつくる図書委員】

- どの作品もすばらしく上手です。見てて楽しいです。
- 楽しませてくれてありがとうございます。
- 子どもたちの明るい色使いに元気をもらいました！
- 子どもたちの感性が色や線に反映され、とても豊かに感じます。自由な感性が伸びることを今後も願います。
- 「もちもちの木」かわいいトナカイ、へび、イヌ、トリ、シルエットのかっこいいオオカミとてもかわいくてかっこいいです！色もカラフルで、とってもすてきです！

校長室から

